

Ⅲ. 第3号議案(2010年度活動方針)

1. 2010年度活動方針

ITが経営に果たす役割が一層重要となっている今日のビジネス環境において、ITはまさに「経営の武器」となっている。現在の厳しい経済情勢下では、経営やビジネスの全体最適を図るためにも、ITの有効活用は必須命題であり、ビジネスプロセスの改善から情報の活用へとその領域を広げていくことが一層求められている。

ビジネススピードの迅速化、経営の質向上、顧客視点でのサービスをどう改革するか、加えて企業を取り巻く膨大な情報の分析をいかに効果的に行うのかなど、ITを活用した企業経営の高度化に各企業は頭を悩ませている。さらにはIT分野における人材の育成も急務となっている。

これらの状況を受けて、2010年度のファミリー会は、会員各位の期待に一層応えていく視点で、会員に役立つ様々な活動を展開し、これまでも増して魅力溢れるユーザ会を目指す。

① 会員企業における企業価値創造と課題解決の支援に役立つ活動の推進

- ・IFRS, クラウド・コンピューティング, 環境対策等、ITやビジネスのトレンドを意識した最新動向や企業内取組み事例といった情報提供や先進的IT活用企業の視察、時事講演など、経営に役立つ活動を推進し、会員各位の企業価値創造を支援する。
- ・多様化する会員ニーズへの即応を図りながら、会員各位がITへの知識を高め、且つアクションプランの構築に繋がられる活動と、次世代の高度IT人材の育成支援を一層推進する。

② 地域に密着した活動の推進と会員サービスの均質化

- ・地区セミナーや県別行事等、地域密着を志向したセミナーの推進を通して、会員サービスの全国均質化を図り、会員参加機会の増加促進と会員活性化に繋げる。

③ 先進ITに関する研究活動の推進と情報共有

- ・先進コンセプトや最新技術の適用方法など、LS研究委員会におけるITに関する最先端の研究活動の推進と研究成果の共有を積極的に図り、会員相互の研鑽・交流を推進する。

④ コミュニケーションの強化

- ・メンバー固定による小規模の分科会・研究会等の継続した研究活動や、グループ演習を交えた実践形式の研修会等、受講者の相互交流が図れる活動を積極的に推進し、異業種交流による人的ネットワーク作りを支援する。